

Kichijoji Catholic Church

カトリック吉祥寺教会



Kichijoji

教会報

2025年7月号

キリストのうちにわたしたちの復活の希望は輝く

(2025年度吉祥寺教会年間テーマ)

2025年度の年間テーマに寄せて

主任司祭 B.Nowak svd



皆さんもうすでにご存じの通り、吉祥寺教会の今年度の年間テーマは「キリストのうちに、わたしたちの復活の希望は輝く」と決まりました。この言葉は、葬儀ミサで用いられる第一叙唱「復活の希望」に由来しています。この叙唱は葬儀ミサでしか唱えられないため、ここで全文をご紹介しますことには意味があると思います。

聖なる父、全能永遠の神、いつでも、
主キリストによって賛美と感謝をささげることは、
まことに尊く大切な務めです。

キリストのうちに、わたしたちの復活の希望は輝き、
死を悲しむ者も、永遠のいのちの約束によって慰められます。
信じる者にとって、死は滅びではなく、新たないのちへの門であり、
地上での生活を終えた後も、天に永遠の住まいが備えられています。
神の威光をあげ、権能を敬うすべての天使とともに、
わたしたちも、あなたの栄光を終わりになくほめたたえます。

葬儀ミサのあと、カトリックの葬儀に初めて参列された方々と話す機会がたくさんあります。その中で多くの方が共通して口にされたのは、「カトリックの葬儀は、他の葬儀と違い、故人と再び会えるという希望を感じさせてくれる」という言葉でした。このような希望はそうした印象をもった方々にとっては新鮮であり、深い感動や驚きをもたらすものだったようです。実際に、カトリックの葬儀を通してその希望に心を動かされ、洗礼を受けた方々も少なくありません。

もちろん、私たちカトリック信者の希望は、死後に愛する人と再会することだけにとどまりません。それは、復活した後、愛する人々と共に、創造主であり、いのちの源である神の愛といのちにあずかり、永遠に生きるという希望です。私たちが希望しているこの現実、天国や救い、また、神の国や永遠のいのちとも呼ばれ、人生の最終的な目的であり、人間にとって最高の幸福の状態であるのです。

しかし、こうした希望の言葉を繰り返し聞く中で、それに慣れてしまった多くのカトリック信者の中には、もう感動を覚えなくなってしまう、希望そのものを完全に失ってはいないものの、希望が弱まり、キリスト者としての生き方を支える力を失ってしまっているのではないかと感じる場合があります。

本来、私たちの希望は、私たちに大きな力をもたらすものです。この希望を抱く人は、たとえ困難や迫害の中にあっても、深い喜びと平和に満たされ、イエス・キリストに忠実に従い、身内の人や仲間のキリスト者のみならず、敵さえも愛することによって、神の愛を証しすることができるのです。この希望を常に新たにし、強める必要があると信じています。皆さんが抱く希望、そして私自身の希望を強めるために、言い換えれば、私たちの希望が満ち溢れて輝くようになるために、これから教会報の紙面をお借りして、一般の人々の人生における「希望」の役割とそのあり方について述べてから、キリスト者の希望の特徴——とくにその基礎・確かさ・実りなどについて、数回にわたり連載形式で解説していきたいと思ひます。



「希望はわたしたちを欺くことはありません」(ロマ 5:5) その1

主任司祭B. Nowak svd

★ 私たちがイエス・キリストに抱く希望の意味と偉大さ、そしてそれが人生において果たす役割を理解するためには、まず人間の行動の根底にあるもの、そしてそれに伴う問題を認識する必要があると思います。

1. 人間の行動の原動力

人の意図的な行動には、必ずしも意識的ではないにしても、いつも目的があります。この目的は、欲望と恐れによって決定されます。私たちの欲望と恐れは、経験、知識、教育、文化、現実の理解、価値観、人間関係、認められた権威、その他多くの要因によって形作られます。

1.1 欲望

人は、自分が必要だと信じているものやことに対して欲望を抱きます。この信念は必ずしも現実と一致するとは限りません。私たちはしばしば、全く必要のないものを、時には自分にとって有害なものさえも欲しがります。それでもなお、私たちの欲望はやむことなく、私たちが望むものを得るためにさらなる行動を起こすよう促す力となります。

1.2 恐れ

人は、脅威と認識するものを恐れます。欲望と同様に、恐怖も必ずしも現実と一致するとは限りません。人は時に、脅威とならないもの、あるいは自分にとって本当に良いことや必要なものでさえも恐れることがあります。恐怖が現実の脅威によって引き起こされるのが、それとも現実に対する誤った評価から生じるのかにかかわらず、恐怖は、脅威と認識したものを回避するため、あるいは脅威の源を破壊するために行動するよう私たちを駆り立てる力です。

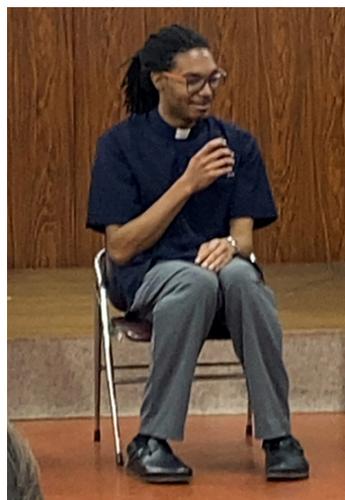
1.3 欲望と恐怖からの人間の自由

欲望と恐怖の力は、これらの感情が無意識の状態にあるとき、つまり、自分がそれに気づいていないときに増大します。人が自分の欲望や恐怖に気づいていれば、それらを省察し、それらが促す行動の妥当性を評価し、必要に応じてそれらに基づく行動を控えることができます。これらの感情に対する自覚がないと、人は内面的な衝動に突き動かされて衝動的に行動してしまうことがあります。それは、本能に従って行動する動物とよく似ています。動物の行動は、熟考に基づく選択に基づくことなく、主に本能に基づいています。しかし、人が自らの欲望や恐れに駆り立てられて実際に行動を起こすためには、希望を持たなければなりません。つまり、自分がこれから起こす行動が期待通りの結果をもたらすと信じなければなりません。

次回は人間の希望についてお話しします。



第4回地区集会が開催されました



吉祥寺教会では4回目となる地区集会が開催されました。2地区ずつに分けての地区集会となり、沢山の信徒の皆さまにご参加いただきました。

今回はボクダン神父様、ヒ神父様、ザック神父様が吉祥寺教会に赴任されて初めての地区集会ということもあり、久々に参加された方も多くいらっしゃいました。

司祭団への質問コーナーでは、教会運営に関することから司祭のパーソナルな部分に迫る質問までバラエティに富んだたくさんの質問がありました。毎回、司祭団との対話もできる事から、地区集会参加者の皆様からは大変ご好評をいただいております。次回は秋ごろの開催となります。お誘い合わせの上、ご参加お待ちしております。

【参加された方のお声】



久々の参加でしたが、新しい司祭団とも、地域の皆さんともお話しができて、とても有意義な時間でした。楽しかったです！
地区集会以外でももっと交流の場が増えることを期待しています！！

新しい講座がスタートしました

今年度の講座が始まりました。初日はあいにくの悪天候でしたが、想定以上の人数の皆様がいらっしゃいました。受洗、堅信ご希望の方は木曜日土曜日のキリスト教基礎講座にご参加ください。お申し込み、費用は必要ありません。是非お気軽にご参加ください。



曜日	時間	講座名	担当者	場所	備考
火	11:00 毎週・月の第1火休み	聖書入門	ボクダン神父	中ホール	対象: 信者 内容: 福音書
水	11:00 毎週・月の第1水休み	典礼暦	ヒ神父	中ホール	対象: 信者 内容: 年間の典礼暦を学び、味わう
	19:00 毎週・月の第1水休み	旧約聖書入門(英語) Introduction to the Old Testament	ザック神父	中ホール	対象: 信者、一般の方 内容: 旧約聖書
木	11:00 毎週・月の第1木休み	聖人伝	ヒ神父	中ホール	対象: 信者 内容: その週・月に祝う聖人について学び分ち合う
	19:00 毎週・月の第1木休み	キリスト教基礎	ボクダン神父	中ホール	対象: 一般の方、洗礼・堅信の準備をする方 内容: カトリック教会の基本的な教え
金	11:00 毎週・月の第1金休み	旧約聖書入門(日本語)	ザック神父	中ホール	対象: 信者、一般の方 内容: 旧約聖書
土	11:00 毎週・月の第1土休み	キリスト教基礎	ボクダン神父	中ホール	対象: 一般の方、洗礼・堅信の準備をする方 内容: カトリック教会の基本的な教え
	15:30 毎週・月の第1土休み	聖書の分かち合い	ボスコ神父	大ホール	対象: 信者 内容: 次の主日の福音を分かち合う

ミサの時間が新しくなりました



6月15日よりミサの時間が新しくなり、初日の日曜主日の17時のミサには、たくさんの方々にお集まりいただきました。従来のミサに加え、新しい時間のミサが増えました。

詳しいミサの時間は巻末のミサ時間表をご確認ください。

侍者のお勉強会が始まりました



侍者のお勉強会がヒ神父様ご指導のもと、始まりました。初日は侍者奉仕希望の子どもたちが参加致しました。ミサ前とミサ後のお祈りを日本語、英語、ベトナム語で教わり、ミサの準備や片付け、祭具の扱い方等今までよくわかっていなかった子どもたちも、神父様の説明に真剣に耳を傾けていました。これからも教会の一員として奉仕をして参ります。お見守りいただけますと幸いです。

マリア会50周年

マリア会50周年記念行事の第1弾として5月27日に聖母マリア月のミサと茶話会を開催しました。茶話会では、ボクダン神父様のお祈りに続き、神父様方からユーマアあふれるご挨拶をいただきました。その後、お茶で乾杯し、お菓子をいただきながら、笑顔が広がる歓談のひとときを過ごしました。



スカウトバザー

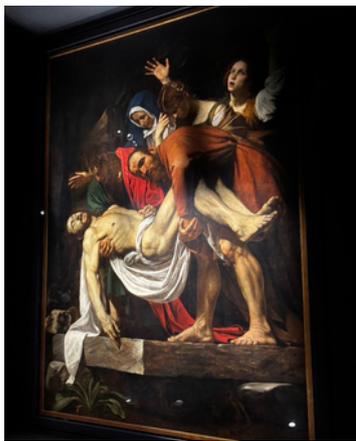
6月1日スカウトバザーが開催されました。お天気にも恵まれ、たくさんの方々が楽しいひと時を過ごされました。当日は北広場駐車場を閉鎖する形となり、信徒の皆様には大変ご不便をお掛け致しました。ご協力ありがとうございました。



【スカウトホーム閉鎖のお知らせ】

かねてからの、武蔵野市からの指摘もあり、建物の耐震診断を専門家の方に40日かけて診断していただき、4月のはじめに専門家の方から、スカウトの代表の方々と教会委員、前主任司祭で診断結果と現状を伺いました。結果は残念ながら現在の耐震基準を満たしておらず、1階部分には一部基礎の無い部分もあるとの事でした。建物の老朽化も進み、スカウトの子ども達が安全に活動をするには危険だという神言修道会日本管区の判断により、この度、スカウトホームは誠に残念ながら、閉鎖する事となりました。大変心苦しい決断ですがご理解とご協力の程何卒宜しくお願い致します。

大阪万博イタリアパビリオン内バチカンパビリオン



<実際に現地に行った日曜学校生徒の感想>

「キリストの埋葬」はもともとローマの教会にあったものを30年ぶりに日本に持ってきたそうです。ローマでは高いところに飾られていて近くで見られないそうで、こんな近くで見られることに感激しました。バチカンの部分だけ部屋が暗く、作品の特徴を際立たせています。また、描いたカルヴァッジョは、事実をきちんと描きたくて、それまで綺麗で若くしか描かなかったマリアさまのお顔をしわくちやに描いたそうです。これはとても珍しいことだと聞きました。また、バチカンの展示エリアではサン・ピエトロ広場に響く鐘の音も響いていました。貴重な体験ができました。

日曜学校4年 えなさん



【注意喚起】カトリック教会が行う寄付について

東京大司教区より、寄付について注意喚起がございました。

下記ご確認をいただきくれぐれもお間違いのないようお願い致します。

最近、寄付に関する問い合わせが多く、問題に発展するケースも出てきております。寄付に関する被害を防ぐため、下記の点にご注意くださいますようお願いいたします。

1. 小教区における寄付は、原則として、主任司祭の承認のもとで行われます。疑問が生じた場合は、主任司祭にご相談ください。
2. 教区で呼びかける寄付は、必ず教区ウェブサイトで公示されます。公示のない寄付要請には、決して応じないようお願いいたします。
3. 司教団が呼びかける寄付は、必ずカトリック中央協議会のウェブサイトで公示されます。公示のない寄付要請には、決して応じないようお願いいたします。

(東京大司教区ホームページより抜粋)

2024年度決算報告<経済評議会>

1.収支について

2024年度吉祥寺教会の宗教活動の収入は表1の損益計算書（宗教活動）の決算金額の通り4,665万1,893円となりました。

収入項目中で「特別献金」はやや予算額を下回りましたがそれ以外は予算を上回ることができ、総収入金額は予算を470万1,893円上回ることができました。

宗教活動の収入の中で最も収入金額が大きい「維持献金」は予算額を上回りましたが、昨年度より金額で50万円、比率で3.7%減少しています。「維持献金」は年々減少傾向が続いています。

「ミサ献金」も予算を上回ることができましたが、金額で約100万円、比率で15%昨年度よりも減少しています。「ミサ献金」はコロナ禍により2020年度より大きく減少していましたが、昨年はコロナ禍が終息したことにより前年度を超えて増加しました。しかし本年度は昨年を下回りました。

「特別献金（四旬節愛の献金、世界難民移住移動献金、一粒会献金、世界宣教の日献金等）」の86万1,753円は全額をそれぞれの用途に献金として支出しました。

投資有価証券として新規に社債を購入しました。また既存債権の買い替えを行いました。このことにより「受取利息」は予算を大きく上回りました。

「その他収入」も170万円を超えて予算を上回りました。これは昨年度実施した吉祥寺教会75周年記念行事に、東京大司教区の各教会をはじめ多くの方々から140万円を超える献金をいただいたことによります。

支出については、活動費は予算より93万1,293円減少することができました。活動費のうち「儀典費」「集会費」が予算を超えましたがこれは75周年記念行事を行ったことによります。また「教区分担金」が増加していますがこれは、昨年度ミサ献金が増加したことにより東京大司教区に提出する献金算定基礎額が増えたことによります。

管理費についてもほとんどの項目で予算を下回ることができ管理費全体で162万1,933円予算を下回りました。

2024年度は建物等の有形固定資産（建物、建物附属設備、構築物等）の減価償却を1,087万3,515円実施しました

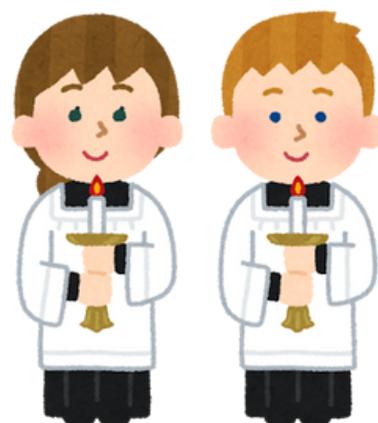
これらのことから2024年度の宗教活動の収支は1,461万3,804円の収益となりました。

なお、昨年度まで実施してきた収益事業からの宗教活動への献金は管区の指導に従って、本年度から行っていません。2024年度の収益事業での収益は248万3,167円ありましたが全額を収益事業の会計にプールしています。

表1 損益計算書（宗教活動）
 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：円)

項目	予算 (A)	決算金額 (B)	予算との差異 (B) - (A)
収入	41,950,000	46,651,893	4,701,893
維持献金	13,000,000	13,213,920	213,920
ミサ献金	5,000,000	5,562,903	562,903
祭儀献金	6,000,000	6,422,000	422,000
増改築献金	8,800,000	9,820,495	1,020,495
特別献金	1,200,000	861,753	△338,247
受取利息	4,600,000	5,720,643	1,120,643
その他収入	3,350,000	5,050,179	1,700,179
支出			
活動費	13,662,800	12,731,507	△931,293
儀典費	1,500,000	1,607,640	107,640
集会費	300,000	1,189,597	889,597
司牧費	2,000,000	1,343,503	△656,497
特別献金支出	1,200,000	861,753	△338,247
司祭活動補助金	2,000,000	2,080,000	80,000
教区分担金	4,900,000	5,212,900	312,900
その他活動費	1,762,800	436,114	△1,326,686
管理費	10,055,000	8,433,067	△1,621,933
修繕費	2,025,000	1,428,904	△596,096
事務用消耗品	240,000	217,621	△22,379
支払保険料	1,000,000	958,715	△41,285
消耗品費	300,000	261,881	△38,119
水道光熱費	1,050,000	1,149,456	99,456
人件費	3,000,000	2,319,030	△680,970
その他管理費	1,190,000	780,206	△409,794
雑費	1,250,000	1,317,254	67,254
収入－支出	18,232,200	25,487,319	7,255,119
減価償却費	10,873,515	10,873,515	
収支	7,358,685	14,613,804	7,255,119



2.資産状況について

吉祥寺教会宗教活動の資産状況を表2の比較貸借対照表（宗教活動）で、2024年度（2025年3月31日）と2023年度（2024年3月31日）を比較して表示しています。

2024年度決算日の資産合計は9億9,343万8,103円で2023年度同日に比べ3,375万4,502円の増加となっています。

資産の部の「流動資産」は7,948万5,296円で、このうち「現金」で255万8,329円、「預金等」で4,733万1,359円保有しています。「預金等」は昨年度に比べ1,222万5,785円減少しています。一方、「短期投資等」は2,959万5,608円で昨年に比べ1,957万8,208円増加しています。

「固定資産」のうち「建物等の有形固定資産」は、6,970万6,744円となっています。2024年度は聖堂2Fの聖歌隊席に「建物付属設備」としてエアコンを61万2,700円で設置しました。また小聖堂に「工具器具備品」として絨毯張替の補修工事を39万8,200円で行いました。この2件が「建物等の有形固定資産」として増加しました。一方「建物等の有形固定資産」全体で1,087万3,515円の減価償却を行いました。このため2024年度の「建物等の有形固定資産」は昨年度よりも986万2,615円減少しています。

「その他の固定資産」として「投資有価証券」と「長期貸付金」で合計8億4,424万6,063円保有しています。このうち「投資有価証券」は8億3,190万3,613円で昨年に比べ6,792万751円増加しています。これは「長期貸付金」及び「預金等」を原資として7,000万円の新規の社債を購入したことによります。このことが「長期貸付金」と「預金等」が昨年よりも減少している要因となっています。「投資有価証券」は、リターンは高くありませんがリスクが低い日本債券（生保・電力・証券会社等の社債）を保有して資金の運用をおこなっています。

一方の負債・基本金の部では、「負債」の「預り金」が1,969万724円増加しています。この増加した「預り金」は社債を購入し「短期投資等」として運用しています。このことが2024年度の「流動資産」の「短期投資等」が増加した要因です。

なお、宗教活動では短期、長期とも「借入金」はありません。

基本金は9億6,263万2,143円となりました。これは2024年度の宗教活動の収益が1,461万3,804円となりましたので、この額が基本金として増加したことによります。

負債・基本金の部では「負債」の比率は3.1%「基本金」の比率は96.9%となっており、自己資本の比率を高水準で維持しています。

表2 比較貸借対照表（宗教活動）

（単位：円）

項目	2024年度 (2025/3/31) (A)	2023年度 (2024/3/31) (B)	増減 (A) - (B)
流動資産	79,485,296	72,055,493	7,429,803
現金	2,558,329	2,480,949	77,380
預金等	47,331,359	59,557,144	△12,225,785
短期投資等	29,595,608	10,017,400	19,578,208
固定資産			
建物等の有形固定資産	69,706,744	79,569,359	△9,862,615
建物	46,652,914	53,694,838	△7,041,924
建物付属設備	20,599,414	23,216,925	△2,617,511
構築物	2,008,235	2,316,205	△307,970
器具備品	446,181	341,391	104,790
その他の固定資産	844,246,063	808,058,749	36,187,314
投資有価証券	831,903,613	763,982,862	67,920,751
長期貸付金	12,342,450	44,075,887	△31,733,437
資産合計	993,438,103	959,683,601	33,754,502
負債	30,805,960	11,665,262	19,140,698
未払金	345,960	895,986	△550,026
預り金	30,460,000	10,769,276	19,690,724
基本金	962,632,143	948,018,339	14,613,804
基本金	935,085,841	935,085,841	
建物積立金	163,980,477	163,980,477	
器具備品積立金	11,000,000	11,000,000	
次年度への繰越金	△147,434,175	△162,047,979	14,613,804



お知らせ

6月15日よりミサの時間が変わりました

主日のミサ・Sunday Mass	
土曜日・SATURDAY	17:00
日曜日・SUNDAY	9:00
	10:30
	17:00
第一日曜日 (英語) 1st Sunday: (English)	15:00
第二日曜日 (ベトナム語) Chúa Nhật thứ hai (Tiếng Việt)	15:00
第三日曜日 (タガログ語) 3rd Sunday (Tagalog)	15:00
第五日曜日 国際ミサ 5th Sunday: International Mass	10:30



今月の聖堂お掃除は
7月27日です。
ご協力のほど
宜しくお願い致します。

【吉祥寺教会公式LINE】
主任司祭より
福音のメッセージと、
教会からのお知らせが
週に一度配信されます。
どうぞご登録ください。

週日のミサ・Weekday Mass	
月、火、水曜日・MON, TUE, WED	6:45
木曜日・THU	18:30
金、土曜日・FRI, SAT	10:30



＜カトリック吉祥寺教会＞
〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-7-8
TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180
URL <https://svdtokyo.jp/>
＜教会維持献金振替口座 郵便振替＞
口座番号 00120-1-106084 カトリック吉祥寺教会
＜教会事務室受付時間が変更になりました＞
火・水・木・金曜日 10:00～15:00
土曜日 10:00～17:00
日曜日 9:00～15:00

